

# 砺波市中小企業等原油価格・物価高騰経営対策支援金

新型コロナウイルス感染症等の影響による燃料価格及び材料価格の高騰により、売上高や利益に悪影響が出ている、建設業、製造業及び道路貨物運送業に支援金を給付します。

## 1 対象となる事業者

(1)～(4)の要件を全て満たす事業者が対象となります。

(1) 中小企業基本法に規定する会社または個人であって、以下のいずれかである。

会社：市内に本店登記を有し、市内に主たる事業所又は営業所を有するもの

個人：市内に住所を有し、かつ、市内に主たる事業所又は営業所を有する者

(2) 主たる事業(日本標準産業分類)が次のいずれかである。

大分類D:建設業 大分類E:製造業 中分類44:道路貨物運送業

(3) 売上高または利益について、令和4年1月～令和4年12月のいずれかの月の額が、平成31年1月～令和3年12月の任意の同月と比較して**15%以上減少**していること。

※利益・・・「売上総利益」または「営業利益」のいずれか。

(4) 市税等を滞納していないこと。

## 2 支給額

会社：**20万円**、個人：**10万円** (1回限り)

## 3 申請期間

令和4年**11月25日**(金) ～ 令和5年**1月31日**(火)【必着】

## 4 申請方法

下記提出先へ、持参または**郵送**で提出してください。

## 5 申請書類

裏面をご覧ください。



## 売上高・利益の減少率算定方法(参考)

例：令和4年1月～12月のいずれかの月の額が、令和3年1月～12月の任意の同月と比較して15%以上減少している場合

例	令和3年	令和4年	減少率
1月	3,000,000	2,700,000	10.0%
2月	5,000,000	5,000,000	0.0%
3月	4,500,000	5,000,000	-11.1%
4月	4,000,000	3,800,000	5.0%
5月	5,500,000	5,000,000	9.1%
6月	8,000,000	6,000,000	<b>25.0%</b>
7月	4,500,000	5,500,000	-22.2%
8月	6,000,000	5,500,000	8.3%
9月	3,500,000	4,000,000	-14.3%
10月	5,000,000	5,500,000	-10.0%
11月	4,500,000	4,000,000	11.1%
12月	6,000,000	4,000,000	<b>33.3%</b>



この場合、令和4年**6月、12月**の額が、令和3年の同月と比較して、15%以上減少しているのが対象となります。



提出先 〒939-1398  
 砺波市栄町7番3号  
 砺波市役所 商工観光課  
 問合せ先 0763-33-1392

砺波市中小企業等原油価格・物価高騰経営対策支援金

検索



支援金の詳細はコチラから⇒

申請に必要な書類		備考
（会社・個人共通書類）	①申請書兼請求書（様式第1号）	市ホームページからダウンロードできます
	②市税等納付（納入）状況確認承諾書	市ホームページからダウンロードできます
	③振込先口座番号が確認できる通帳の写し	金融機関名、支店名、振込先名義（カナ氏名）、口座番号等がわかるもの
	④減少率の比較に用いた A平成31年1月～令和3年12月の任意の月 B令和4年1月～令和4年12月のAと同じ月の売上高または利益が確認できる以下の書類のいずれか（15%以上の減少が確認できるもの） (1) 法人事業概況説明書 (2) 青色申告決算書 (3) 試算表や売上台帳など	対象となる月の売上高または利益を確認できるものがない場合は、市ホームページから「売上高または利益を証明する書類（参考様式1）」をダウンロードして提出してください。
会社	⑤直近の法人税確定申告書別表一 及び 法人事業概況説明書	税務署受付印または電子申告受付番号の印字が必要です。
	⑥履歴事項全部証明書	発行日から1年以内のもの。 ※インターネット版も可
個人	⑦直近の確定申告書の写し (1) 青色申告書を行っている人 確定申告書B第一表 及び 青色申告決算書 (2) 白色申告を行っている人 確定申告書B第一表 及び 収支内訳書	税務署受付印または電子申告受付番号の印字が必要です。
	⑧本人確認書類の写し	運転免許証（両面）、マイナンバーカード（表面）など

## Q&A よくある質問

Q.売上高等減少は、どのように比較したらいいですか？

A.令和4年1月～12月（下図A）の任意の月と、平成31年1月～令和3年12月の任意の同月（下図B）を比較します。

例えば、令和4年9月を選択する場合、「令和元年9月」、「令和2年9月」、「令和3年9月」のいずれかと比較できます。

A	令和4年 (2022年)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
										○			
B	令和3年 (2021年)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
										○			
	令和2年 (2020年)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
										○			
令和元年 ※平成31年 (2019年)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
									○				